## Topics of medic

2024年 11月 No. 2024-44 滋賀

## 新規収載項目のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、「保医発1031第3号」厚生労働省保険局医療課長通知により、下記検査項目につきまして、検査実施料が新設されましたので、ご案内申し上げます。

謹白

記 -

## ■検査実施料が新設された検査項目

「保医発1031 第3号」 適用日 令和6年11月1日

		· 体区元1001 <del>和</del> 07	<u> </u>
検査項目名	実施料	判断料	診療報酬点数表区分
免疫固定法(モノクローナル 抗体を用いた場合)	776点 (388点×2回分)	免疫学的検査 144点	「D015」血漿蛋白免疫学的検査「29」

## 留意事項

- (4) 免疫電気泳動法(抗ヒト全血清)、免疫電気泳動法(特異抗血清)<u>及び免疫固定法(モノクローナル抗体を用いた場合)</u>
- ア 「17」の免疫電気泳動法(抗ヒト全血清)、「24」の免疫電気泳動法(特異抗血清)<u>及び免疫</u> <u>固定法(モノクローナル抗体を用いた場合)</u>については、同一検体につき一回に限り算定する。
- イ 同一検体について「17」の免疫電気泳動法(抗ヒト全血清)、「24」の免疫電気泳動法(特異抗血清)又は免疫固定法(モノクローナル抗体を用いた場合)のうちいずれかを併せて行った場合は、主たる検査の所定点数のみを算定する。
- ウ 「24」の免疫電気泳動法(特異抗血清)は、免疫固定法により実施した場合にも算定できる。
- 工 免疫固定法(モノクローナル抗体を用いた場合)は、ダラツムマブ由来の $IgG-\kappa$ の影響を回避することができるものとして薬事承認又は認証を得ている体外診断用医薬品を用いて、免疫固定法により、ダラツムマブが投与された患者における多発性骨髄腫又は全身性ALPミロイドーシスの治療効果判定を目的として行った場合に、区分番号「D015」血漿蛋白免疫学的検査の「29」免疫グロブリン遊離L鎖 $\kappa/\lambda$ 比の所定点数2回分を合算した点数を準用して算定する。
- ※ 下線部が変更されました。
- ※ 現時点では、検査を受託することはできません。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは当社インフォメーションまでお申し付けください。

